

アグリノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

今年はカメムシの多発により斑点米の増大が懸念されています。防除の徹底に努め斑点米被害を防ぎましょう。また台風やフェーン現象にも注意が必要です。予見されるときは、事前に水を張り、乾燥被害や高温被害を軽減すべく対策を心掛けましょう。ハナエチゼン・コシヒカリの栽培管理も後半戦。品質・収量向上を目指して本田での仕上げの管理と適期の刈取を行いましょう。

1. 出穂から刈取までの管理

管理によって被害が発生すると等級が下がる原因となります。適正管理に努め1等米を目指しましょう。



①斑点米

カメムシが、もみを吸汁することで発生。

カメムシ防除



②乳白米

高温条件で発生。

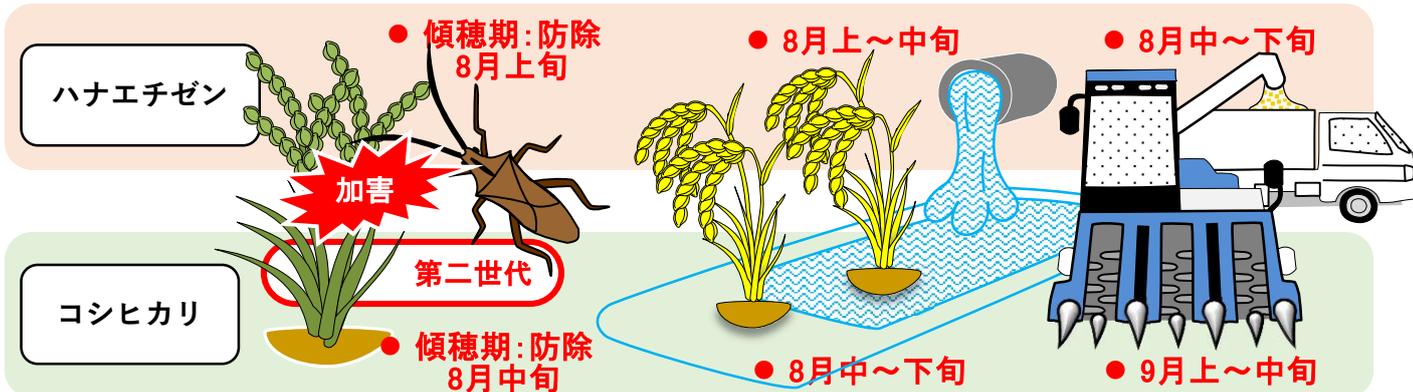
間断通水



③胴割れ米

早期落水した場合や、刈り遅れた場合に発生。

適期刈取



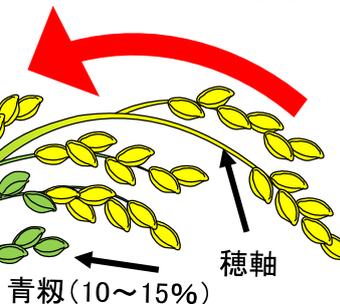
今後の管理

- カメムシ防除の徹底
- 出穂期(仕上げ防除)
- 間断通水は3~5日間隔
- 田面に水(水位2~3cm)が行き渡ったら自然落水
- 溝切りの底や足跡の水が無くなるまゝに入水。
- 刈取7日前まで間断通水
- 適期刈取(刈り遅れ防止) 出穂日を記録し、刈取り開始日の目安を確認

2. 適期刈取と乾燥について

刈り遅れは胴割れ米の原因に、早刈りは収量の低下につながります。また、雑草の多い圃場では、ヒエやクサネム等の種子が米に混入したり、コンバイン作業の支障になるので早めに除去しましょう。

★先端から黄化が進む



適期刈取

- 登熟歩合(穂軸調査)から、帯緑粳率(青粳): 10~15%
- 出穂日を記録し、刈取り開始日の目安を確認 JAのカントリー稼働日を確認し適期刈取を行しましょう。
- 立毛中の粳水分が25%を下回る時期が刈取り目安
- 刈取り時間は、朝露等がなくなる午前10時以降実施

乾燥調製

- ◆ 刈取り直後に急激な乾燥をしない(張込みから乾燥までは通風循環)
- ◆ 乾燥は水分18%でテンパーリング(6時間以上休止後、再び乾燥)
- ◆ 仕上水分は14.5~15.0%

